

テーマ・フォーカスシリーズ①

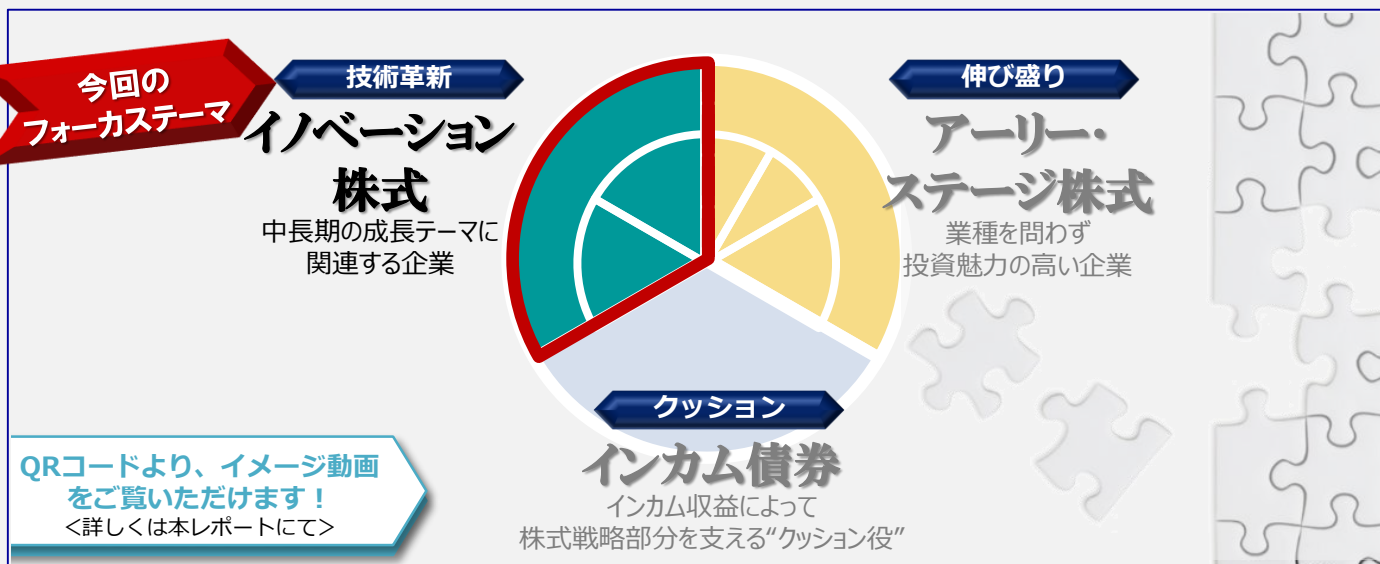


グローバル・メガピース

社会の大きな変化から投資機会を捉える 「イノベーション株式」

「グローバル・メガピース」は、3つのテーマに基づき、6つの投資戦略^(注)に着目し、社会の構造変化（メガトレンド）を捉え、資産の成長をめざす運用を行なっています。
本資料では、数回にわたり、各テーマの着眼点ならびに各投資戦略をご紹介します。

「グローバル・メガピース」を支える3つのテーマ



< 基準価額の推移 >

(注) 投資戦略の数は、資料作成日現在



2018年6月15日現在	
基準価額	9,809円
純資産総額	246億円

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

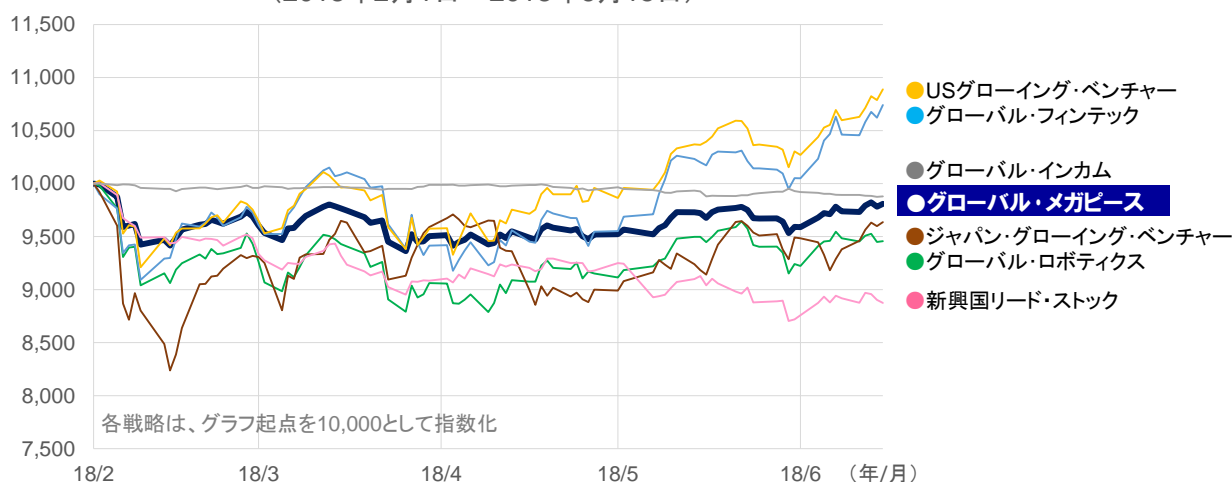
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考：当ファンドの運用状況

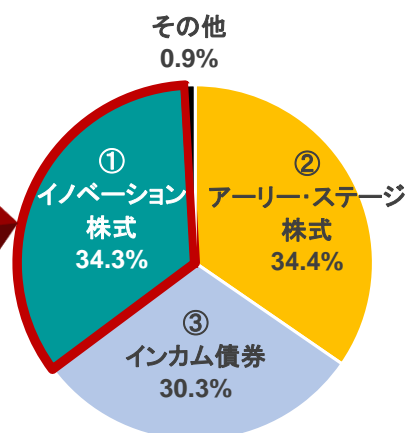
足元の基準価額は、「USグローイング・ベンチャー戦略」「グローバル・フィンテック戦略」の力強い上昇が貢献したほか、「グローバル・インカム戦略」が基準価額の変動抑制効果につながり、安定的な推移を続けました。

＜各戦略と当ファンドのパフォーマンス＞
(2018年2月1日～2018年6月15日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
※各戦略のパフォーマンスは、投資対象である投資信託証券における税引前分配金再投資ベースの基準価額です。

ポートフォリオの状況 (2018年5月末現在)



※資産構成比率は当ファンドの純資産総額比です。

＜ポートフォリオの内訳＞

＜比率＞

①イノベーション株式		34.3%
	グローバル・ロボティクス戦略	17.1%
	グローバル・フィンテック戦略	17.2%
②アーリー・ステージ株式		34.4%
先進国	ジャパン・グローイング・ベンチャー戦略	8.8%
	USグローイング・ベンチャー戦略	8.7%
新興国	新興国リード・ストック戦略	17.0%
③インカム債券		30.3%
	グローバル・インカム戦略	30.3%
その他		0.9%

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



テーマ
イノベーション株式

社会の大きな変化を捉える投資テーマ 「イノベーション株式」



世界経済はこれまで、蒸気機関や電気、ITや産業用ロボットなどの技術革新が牽引役となり、拡大してきました。そして今、第4次産業革命の柱とされるAI（人工知能）やIoT（モノのインターネット化）の活用、スマートフォンの急速な普及等により誕生した金融サービス、フィンテックへの期待が高まっています。

■ 産業革命の変遷

第1次・第2次産業革命

18世紀末以降
20世紀初頭



蒸気機関・電気の活用

第3次産業革命

ITや産業用ロボットの活用



1970年代～

IT革命

パソコンとインターネットの普及



1990年代～

第4次産業革命

AIやIoTの活用

ロボティクス



■ 金融サービスにおける技術革新の変遷



1970年代



1980年代



1990年代後半

通信技術の発展による
“金融のネットワーク化”
インターネットの普及による
“金融のオンライン化”

フィンテック



2000年代後半～

イノベーションによる
“金融サービスのデジタル化”

※ 上図はイメージであり
実際とは異なる場合があります。

世界経済の押し上げが期待されるイノベーション

出所：
IMF「World Economic Outlook, April 2018」



「技術革新」のテーマとして、2つの投資戦略に着目 (注)



世界的課題の克服に向けた、
骨太で息の長い成長テーマ

**グローバル・ロボティクス
戦略**

経済と表裏一体の
「お金」に起こるデジタル革命

**グローバル・フィンテック
戦略**

(注)資料作成時点のものであり、今後変更される場合があります。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



グローバル・
ロボティクス戦略

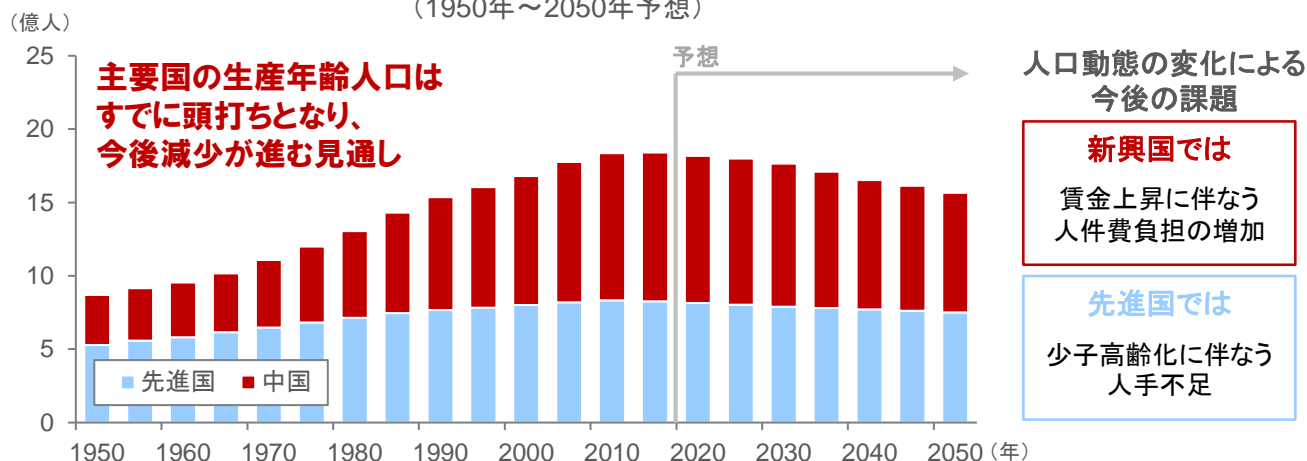
加速度的な成長が期待される 「ロボティクス」

ロボット業界は、少子高齢化や労働コストの増大などを背景とした需要面と、部品価格の下落や技術の進歩を背景とした供給面からの後押しを受けて、新たな市場を切り開く成長産業として注目が集まっています。

各国政府もロボットの可能性に着目しており、ロボットを活用して国際競争力を高めるべく、種々の政策を打ち出していることも、市場拡大の後押しにつながると期待されます。

人口動態の変化のなか、課題克服を可能にするロボティクス

＜生産年齢人口（15～64歳）の推移＞
（1950年～2050年予想）



工場や建築・土木などでのロボット活用により、
人手不足や熟練工不足の問題を軽減

工場や倉庫での
作業自動化ロボット



ドローンによる遠隔操作が、
労働力の補完や効率化の一助に



もっと詳しく知りたい方は、
こちらをチェック！

スマートフォンでQRコードを読み取ると、
動画が見られます。



●写真はイメージであり、一例です。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



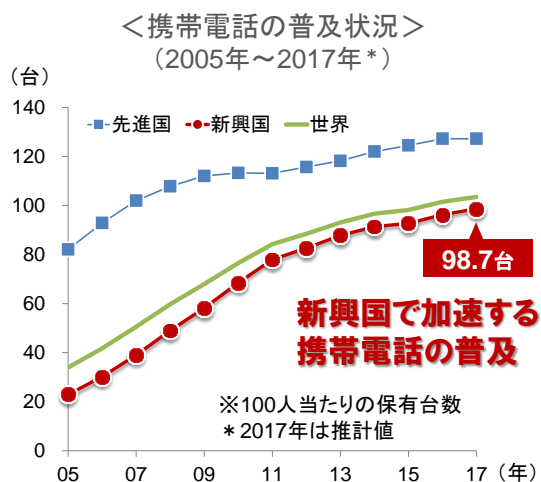
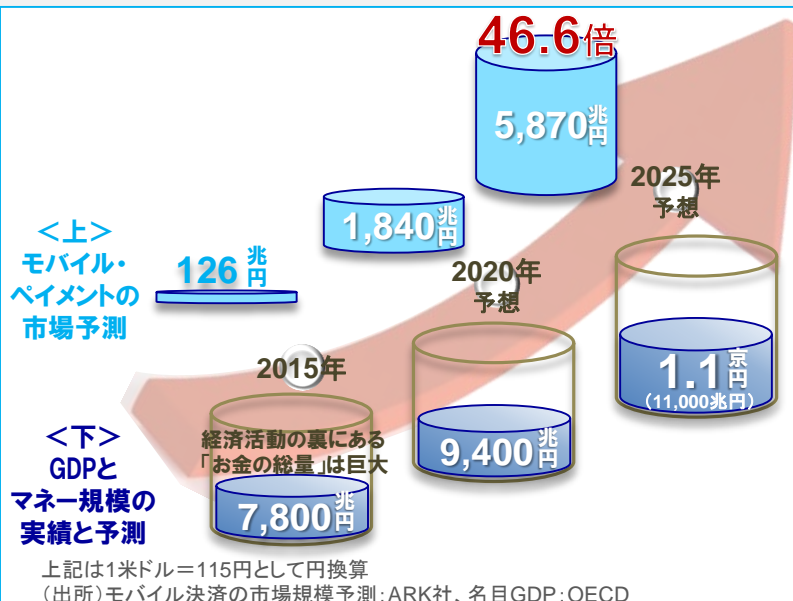
グローバル・
フィンテック戦略

新たな金融サービスとして台頭する 「フィンテック」

フィンテック (FinTech) とは、金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語で、最新の情報技術を活用した「新たな金融サービス」のことを言います。

スマートフォン (スマホ) の急速な普及やテクノロジーの進歩により、技術面での金融サービスへの参入障壁が大きく低下したこともあり、既存の金融機関にはない「新たな金融サービス」であるフィンテックが拡大しつつあります。

スマホ普及と技術進歩により、ハイスピードで進むお金の革命



ITU「World Telecommunication/ICT Indicators database」をもとに日興アセットマネジメントが作成

これまでの概念をくつがえし、急速な成長を続ける フィンテック・ビジネス

スマホがあれば、
銀行窓口も店舗レジも
不要に



●写真はイメージであり、一例です。

カード決済も
スマホやタブレットで簡単に



もっと詳しく知りたい方は、
こちらをチェック！

スマートフォンでQRコードを読み取ると、
動画が見られます。



※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



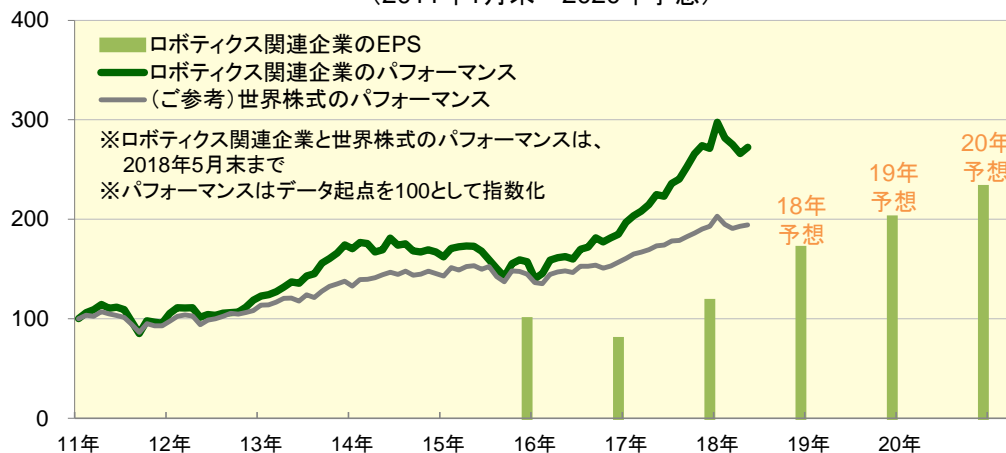
グローバル・
ロボティクス戦略

ご 参 考



グローバル・ロボティクス関連企業のパフォーマンス

＜参考指数とEPS(1株当たり利益)の推移(米ドルベース)
(2011年1月末～2020年予想)＞



EPSは2015年
12月末を100
として指数化

ロボティクス関連企業: ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数(配当込)
世界株式: MSCIワールド指数(配当込)

※18年以降のEPS予想値は、2018年6月現在の市場予想です。

※ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global社が開発した、世界のロボティクス関連事業を行なう企業の株式で構成された指数です。

銘柄例
①

インテューイティブ・サージカル (米国/ヘルスケア)



手術用ロボットの世界最大手

手術用ロボットシステム
メーカーの世界最大手。

同社の外科手術用ロボット
「da Vinci(ダ・ヴィンチ)」は、
小さい傷口で患者負担の
少ない手術を実現。今後の
市場拡大が期待される。



●写真はイメージです。

※ 2018年5月末時点における「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」組入上位10銘柄よりご紹介しています。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

銘柄例
②

ファナック (日本/資本財・サービス)



世界シェアの約半分を占めるFA*メーカー

*ファクトリー・オートメーション:工場生産自動化

FAIに不可欠な工作機械
装置(NC装置)で世界シェ
ア約50%を誇る世界的FA
機器メーカー。

同機器の中国展開を受け、
同社のビジネス拡大が
期待される。



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



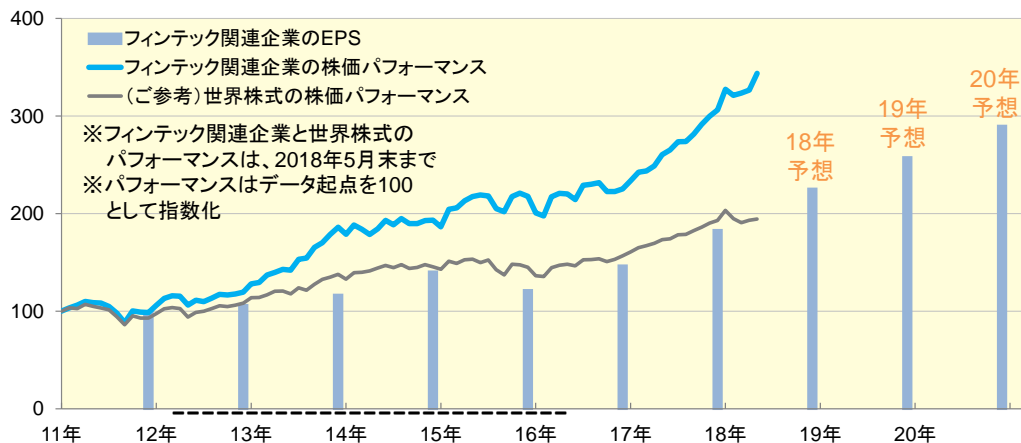
グローバル・
フィンテック戦略

ご 参 考



グローバル・フィンテック関連企業のパフォーマンス

＜参考指数とEPS(1株当たり利益)の推移(米ドルベース)＞
(2011年1月末～2020年予想)



※フィンテック関連企業と世界株式の
パフォーマンスは、2018年5月末まで
※パフォーマンスはデータ起点を100
として指数化

EPSは2011年
12月末を100
として指数化

フィンテック関連企業：ファクトセット・グローバル・フィンテック・インデックス(配当込)

世界株式：MSCIワールド指数(配当込)

※18年以降のEPS予想値は、2018年6月現在の市場予想です。

※ファクトセット・グローバル・フィンテック・インデックスはファクトセット社が開発した、世界のフィンテック関連企業の株式で構成された指数です。

銘柄例①

レンディングツリー (米国/銀行)



資金調達プラットフォームとして急拡大

利用者に合わせて金融事業者を提示し、融資をマッチングするサービスを提供。融資形態の多様化により、利用ニーズが期待されるほか、さらなる事業拡大に向け戦略的買収なども実施。



●写真はイメージです。

※ 2018年5月末時点における「グローバル・フィンテック株式マザーファンド」組入上位10銘柄よりご紹介しています。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

銘柄例②

テンセント・ホールディングス (中国/ソフトウェア・サービス)



中国で圧倒的シェアを誇るSNS*業界の巨人

*ソーシャル・ネットワーキング・サービス

中国モバイル市場で圧倒的シェアを誇る。

決済サービスやAI研究など事業は多岐に渡り、スマートフォン対話アプリ「ウィーチャット」ユーザーは10億人を突破。



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1** ^{メガトレンド} 社会の構造変化を捉える2つの株式テーマに着目し、収益の獲得をめざします。
- 2** 2つの株式テーマに債券を加え、インカム収益の獲得をめざします。
- 3** 各戦略に基づく投資は、日興アセットマネジメントが厳選したファンド（投資信託証券）を通じて行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。

なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および債券などを実質的な投資対象としますので、株式および債券などの価格の下落や、株式および債券などの発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

- 【価格変動リスク】
- 【流動性リスク】
- 【信用リスク】
- 【為替変動リスク】
- 【カントリー・リスク】
- 【デリバティブリスク】
- 【未上場株式などの組入リスク】
- 【延長リスク／期限前償還リスク】
- 【期限前償還に伴う再投資リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡します。内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2028年1月25日まで(2018年2月1日設定)
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

手数料等の概要 お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.809%(税抜1.675%)以内を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、以下の通りです。 ・当ファンドの信託報酬率:純資産総額1,000億円以下の部分..... 年率1.6632%(税抜1.54%) 純資産総額1,000億円超の部分..... 年率1.4472%(税抜1.34%) ・投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率:年率0.1458%(税抜0.135%)以内 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド(投資助言) ピムコ ジャパン リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(資料作成日現在、50音順)



当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。